

全国保健師長会
東海・北陸ブロック研修会 R6.8.24(土)

能登半島地震を経験して人材育成を考える

石川県健康福祉部健康推進課
酒井 徳子

まずはじめに

令和6年1月1日 16時10分頃 発生した能登半島地震に際しまして…

お正月という、ご家族と過ごせる大事な時期に、全国から、多くの皆様に応援いただきました。

皆様には、派遣チームの調整をはじめ、中には現地に入ってください、年始早々、大きな御支援をいただきました。

現地では、断水等が続く不自由な環境の中で、避難所等での被災者の健康管理、心のケアなど精力的に保健活動を展開いただき、被災市町にとりましては、具体的な活動支援だけでなく、大きな心の支えとなっていました。

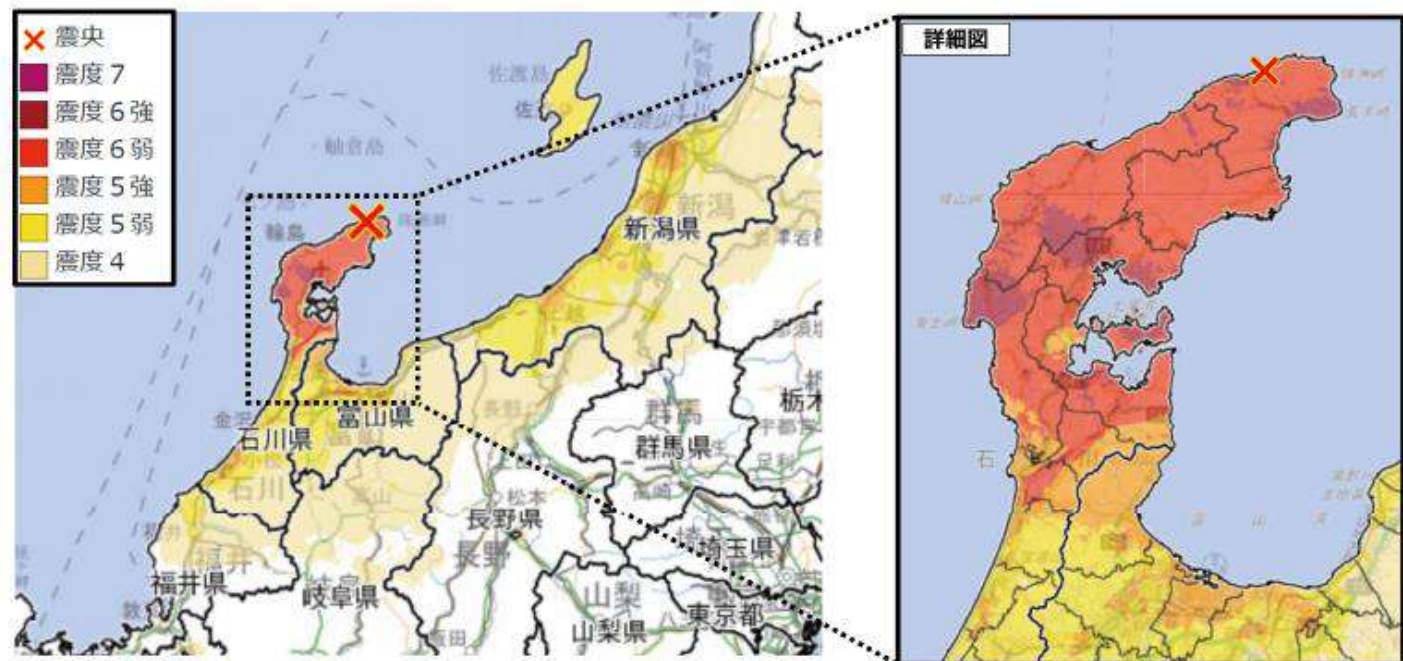
**皆様の御支援に、心より感謝申し上げます。
本当にありがとうございました。**

今回の地震について

令和6年1月1日(月)
16時10分頃、
石川県能登地方を震源とする
マグニチュード7.6の地震が発生

石川県輪島市や志賀町で
最大震度7を観測したほか、
能登地方の広い範囲で
震度6強や6弱の揺れを観測

今回の地震により、
石川県能登で大津波警報が発表され、
能登町や珠洲市で4m以上の津波の
浸水高を観測するなど、
能登半島の広い地域で津波による
浸水が認められました。



出典: 気象庁ホームページ (https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#6/36.781/137.42&contents=estimated_intensity_map&id=202401011610)
推計震度分布を加工して作成



今回の地震について

被害の状況 令和6年8月13日時点

- ◆人的被害：1,551人
 - 死者数 339人（内災害関連死110人）
 - 行方不明者 3人
 - 負傷者 1,209人（内重症333人）

- ◆住家被害：81,649棟（内全壊5,894棟）

- ◆ライフライン被害（ピーク時）
 - ・断水：約11万戸（5月31日解消※）
 - ※土砂崩れや建物倒壊など早期復旧困難地区を除く
 - ・停電：約4万戸（3月15日復旧）

【参考】8月13日現在の避難所開設状況



連絡先：危機対策課
(076-225-1482)

(1) 市町1次避難所

避難所の開設状況 R6.1.7時点

市町名	開設数(箇所)	避難者数(人)
金沢市	2	30
七尾市	35	2,078
小松市	1	1
輪島市	160	11,932
珠洲市	62	6,869
加賀市	1	4
羽咋市	1	106
かほく市	2	55
白山市	0	0
能美市	0	0
野々市市	0	0
川北町	0	0
津幡町	2	28
内灘町	4	120
志賀町	14	853
宝達志水町	2	59
中能登町	4	184
穴水町	45	2,669
能登町	69	3,833
計	404	28,821



市町名	開設数(箇所)	避難者数(人)	備考
金沢市	0	0	他に広域避難所 1カ所・6人 ※
七尾市	1	43	
小松市	0	0	4月15日 12時00分閉鎖
輪島市	13	155	
珠洲市	18	223	
加賀市	0	0	1月9日 17時30分閉鎖
羽咋市	0	0	他に広域避難所 4カ所・24人 ※
かほく市	0	0	4月9日 10時00分閉鎖
白山市	0	0	他に広域避難所 1カ所・7人 ※
能美市	0	0	他に広域避難所 1カ所・2人 ※
野々市市	0	0	7月5日 13時30分閉鎖
川北町	0	0	1日1日 21時10分閉鎖
津幡町	0	0	4月18日 12時00分閉鎖
内灘町	0	0	5月9日 17時00分閉鎖
志賀町	5	70	
宝達志水町	0	0	2月6日 14時40分閉鎖
中能登町	0	0	3月31日 14時00分閉鎖
穴水町	0	0	8月12日 12時00分閉鎖
能登町	1	5	
計	38	496	他に広域避難所 7カ所・39人 ※

※旅館・ホテル等を除く

(2) 県避難所

施設名	開設数(箇所)	避難者数(人)	備考
1.5次避難所(スポセン)	1	19	累計 1,501人
2次避難所(旅館・ホテル等)	63	365	累計 11,726人

被災市町の人口構成



被災市町（能登北部4市町）

R5.10.1現在（推計人口）

人口：55,666人（石川県全人口の5%）

65歳以上人口の割合：51.1%（県平均30.7%）

75歳以上人口の割合：30.3%（県平均17.2%）

※県内で最も高齢化が進んでいる市町が被災！

被災市町（能登中部5市町）

R5.10.1現在（推計人口）

人口：111,163人（石川県全人口の10%）

65歳以上人口の割合：41.6%（県平均30.7%）

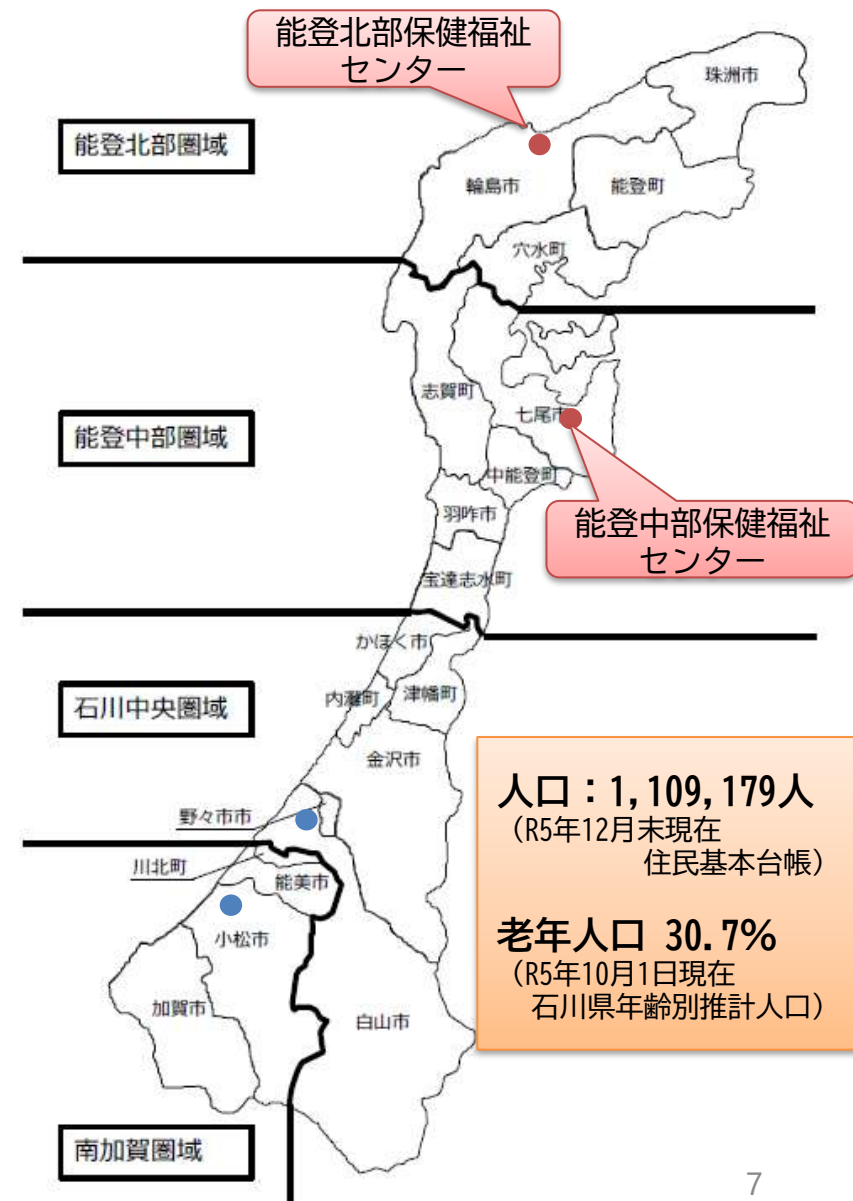
75歳以上人口の割合：23.6%（県平均17.2%）

七尾市と志賀町

人口：64,776人（石川県全人口の5.8%）

65歳以上人口の割合：42.3%

75歳以上人口の割合：23.9%



容易に登庁できない地等にいる → 動ける保健師数が限られる

保健師以外の保健福祉センター職員の手を借りる・・・
他所属の県職員の応援を求める

指示する保健師が登庁できない → 若手保健師だけが登庁

連絡が取れる状況であれば、連絡取れる体制に・・・
しかし、それができない場合は・・・
若手保健師だけで、動けるように・・・

平時の研修状況について

- ・講義: 災害時の役割確認
アクションカード、DHEAT、クロナロとは
- ・訓練: 資機材の確認(所内巡回)
通信機器(衛星電話等)の操作説明
- ・演習: 発生、初動対応、クロナロを書いてみよう

【所内訓練】

- ・災害時の県職員、保健所職員の対応について
- ・通信機器の取扱いについて
- ・EMIS、県防災ポータルについて
- ・地震等災害時初動マニュアルを用いた実動訓練

【災害時保健活動連絡会】

- 管内からモデル市町を選定し、災害発生時の保健活動が円滑かつ効果的に進むよう、具体的な体制整備に取り組む(その成果を管内他市町へ普及)
- ・要支援者名簿の作成と活用
- ・モデル事例について、個別避難計画の検討 等

【所内】

- ・災害時の職員の安否確認訓練
- ・発災からセンター対策本部立ち上げの訓練
アクションカードの説明と実地訓練
- ・本部立ち上げから発災後72時間の活動の訓練
各課で災害活動内容を確認、作成、所内で共有

【管内市町との研修会及び情報交換】

- ・災害時の保健活動
- ・災害発生後のタイムラインと被災者支援の対応
- ・災害対策の情報管理や人材育成についての情報交換

- ・地震等災害対応業務初動マニュアルの説明
- ・建物内外の設備確認
衛星電話、防災システム、プロパンガス、自家発電
- ・実動訓練
発災から災害対策本部体制までの訓練

今後の人材育成について

誰でも（若手でも）、動けるように

- ・ アクションカード（指示がなくでも行動できる）
保健師はどう動くのか、具体的なイメージを持つことができるように
県保健師として何をすべきなのか、市町支援で何をすべきなのか
- ・ 指示待ちではなく、自分で考えて、今何が必要と考えられるのか、など、
自分で考えて意見や提言できる

チームワークが発揮できる職場

保健師だけでなく、全体で、震災対応に関われるように、所内をはじめ、所外との体制を整えておくことが必要

市町と良い関係づくり

平時からのお付き合いを大事に

このたびは、**ありがとう**ございました。